



浅野さち 通信



市民相談は浅野さちまで！ 090 (1763) 7785

発行者：市川市鬼高1-14-3 浅野さち 令和4年7月発行

令和4年6月議会報告

いのちと健康を守る

いつも大変お世話になっております。**浅野さち**でございます。
皆様には、先の参議院選挙におきましては公明党に対し真心からのご支援ご理解賜りまして誠にありがとうございました。
これからも現場第1で市会、県会、国会のネットワークで皆様のお声を届けて参ります。引き続き宜しくお願い申し上げます。また、6月議会報告と実績を掲載させていただきます
連日猛暑が続いていますので、お身体にお気をつけてお過ごし下さい。



がん患者のアピランスケア（外見のケア）について

- Q** 医療的ウィッグや補正下着、人工乳房の購入費助成を昨年6月議会にて質問致しました。その後の調査と来年度に向け購入費助成の考えを伺います
- A** 浦安市、葛飾区、千葉市にて行っており、患者さんが、その人らしい生活を送る手助けとなる事から助成制度の実施について検討致します。

要望

今や3人に1人がんに罹患するといわれています。行政がアピランスケアを積極的に推進し患者さんの就労意欲や、社会参加などその人らしい生活を送る手助けとなるように購入やレンタルなども含め助成制度の導入を強く要望致します。

メールや SNS を活用した女性の相談窓口の拡充

- Q** コロナ禍における女性への影響は大きく、本市における令和3年度の男女共同参画センターへの相談は「生活費を渡さない」などの経済的暴力が増加しているとの事です。より相談しやすい体制づくりが大切です。メールや SNS の活用しどのように行うのか伺います。
- A** 市内 NPO 法人に委託し週3日受付します。相談員は教育、医療、福祉の分野で相談業務に従事した経験の方で行い、内容によって次の相談支援としてそれぞれの関係部署に繋げていきます。また、併せて相談者が「生理の貧困」に陥っている場合は生理用品の提供を行います。

要望

国の地域女性活躍推進交付金を活用し今回、メールや SNS の活用で相談体制を拡充しました。この点評価しますが、今後女性デジタル人材の取り組み、また訪問型支援も含め女性が社会で更なる活躍ができるような支援体制構築に期待します。



産後ホームヘルプサービスの条件見直しについて

近くに支援するご家族などがいない場合、家事援助、育児支援などで母親が心身共に休める重要なサービス事業です

Q 現在の利用時間は2時間ですが、2時間から4時間の拡充について、利用期間が現在は産後56日までとなっていますが乳児の首が安定する90日までの拡充について、夫が育休中利用できるのかについて3点伺います。

A 時間、期間共に見直す方向で検討します、また、夫が育休中でも妻が身体を休める理由があればサービスは受けられます。



带状疱疹ワクチン接種の一部費用助成について

Q 市民からワクチンが高額で自治体独自の費用助成を行っている市があるが、本市においても助成はできないか伺います

A 他市で助成している事は認識しています。国は定期接種化に向けて対象年齢や安全性、費用対効果を審議しています、市としては結果を踏まえ対応していきます

要望！50歳から80歳代まで約3人に1人発症し、带状疱疹による神経の痛みに悩まされる方が多い、ワクチン接種によって重症化予防になります。公明党参議院議員竹内しんじは3月14日の予算委員会にて早期に定期接種できるよう質問し要望しました。

国の動向もそうですが市独自のワクチン接種一部助成を早期によろしくお願い致します。

公共施設の男性トイレにサンタリーボックス（汚物入れ）を設置

Q 前立がんや、膀胱がんなどの疾患により、尿漏れパッドを使用している方が安心して外出できるように男性トイレ個室にサンタリーボックスを設置できないか伺います。

A 現在第1庁舎及び第2庁舎の男性用個室トイレに設置してあるが、公民館をはじめ、他の公共施設には設置していない為、今後早急に設置致しますまた、サンタリーボックスの用途説明文を張り付け周知します

本八幡駅、市役所第1庁舎、第2庁舎を回る循環バス運行について

Q 第1庁舎と第2庁舎の機能が分かれている事、また、第2庁舎の駐車場も満車になりやすく困るとの声も伺っています。市民の要望が多い事を踏まえ再度循環バスを運行できないか伺います。

A 必要性は認識しています。今後事前調査を行い、関係部署をはじめ、民間のバス会社やタクシー会社などからも広く意見を聴取し実情に沿った運行を検討致します。

実績

1. 3年前から産後ケア事業の事を質問要望して参りました。今回訪問型が追加され、宿泊型、ディサービス型と母親にとって様々な選択肢が増えました。訪問型は助産師が訪問して、乳房ケアなど心身のケアをはじめ様々相談ができます。特に多胎児をお持ちの母親にとっては大変有効であり安心できます。

2. 多胎妊娠の妊婦健康診査の費用助成は通常14回ですが19回まで拡充となります